

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「自らのロータリーストーリーを
作りましょう」

高田ロータリー
今年のスローガン

「善意を深め、
奉仕の力を昂めよう」



インスピレーションになるう

2018～2019年度

国際ロータリー会長 バリー・ラシン
2560地区ガバナー 川瀬 康裕
高田ロータリー会長 牧野 章一
幹事 佐藤 教彦

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
堀井 靖功 岩崎 幹男 宮川 大樹

第5回例会 ■ 8月1日(水)

～ 公式訪問特集号 ～

No.5

会長挨拶 ● 牧野 章一



皆さんこんにちは。

今日は、国際ロータリー第2560地区川瀬康裕ガバナーをお迎えしての例会ですが、本日、川瀬ガバナーは「体調不良」のため欠席です。宮下寿幸ガバナー補佐に代行をしていただきます。

地区から関川 博地区幹事、吉井直樹公式訪問担当副幹事にお出でいただいています。

皆さまには、ロータリーの核心に触れる大切な時間です。本年度当クラブテーマ「善意を深め、奉仕の力を昂めよう」で実りあるものにしたいと思います。

お食事・ご歓談、そしてお話をお楽しみください。

出席報告

出席率 100%

ビジター

第2560地区 地区幹事 関川 博君
第2560地区 公式訪問担当副幹事 吉井直樹君
第7分区ガバナー補佐 宮下寿幸君 (高田東RC)
高田RAC会長 草野健斗君・地区RA地区代表 永井真伊君

ニコニコBOX紹介

川瀬康裕ガバナー

宮下寿幸第7分区ガバナー補佐——本日はよろしく申し上げます。ガバナー代行ということで緊張していますが、ロータリーの友情と寛容な心であたたかくお迎えいただきありがとうございます。

会長・幹事——川瀬ガバナー公式訪問に際して小熊貞良君——お世話になりました。

幹事報告

配布物：週報No.3

回覧：ガバナー月信8月号

報告：8月3日は通常例会です

歓迎のあいさつ



先ほどの理事との懇談会ではいろいろとご指導いただきありがとうございます。後ほど幹事の方から卓話をいただきますがご期待ください。

また、ポール・ハリスのロータリー設立当時の考え方を紹介した上で「ロータリーは難しく考えないで、自分自身を高めてほしい。」と呼びかけました。

川瀬康裕ガバナービデオメッセージ



川瀬ガバナーの公式訪問を代行する宮下ガバナー補佐は、①川瀬ガバナーの休養に関する対応を説明 ②「体調不良のために公式訪問に出席できずお詫びします」との川瀬ガバナーの挨拶を代読。続いてガバナーメッセージ（VTR）を放映されました。

「認知症」をテーマに考えたい

【地区運営方針発表】



川瀬ガバナーのビデオメッセージは、国際協議会への参加報告と地区運営の方針発表でした。地区方針として「認知症」を考えたいと提案されました。以下概要です。

バリー・ラシン会長の「インスピレーションになろう」のメッセージの中から

【ロータリーのビジョン声明（2017/6）】

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。

そのために・私たちは手を取り合います＝なぜなら協力すれば一人よりもずっと強くなれると知っているからです。・私たちは行動します＝なぜならロータリは夢想家ではなく、実行する人の集まりだからです。・私たちは持続可能な変化を生みます＝私たちの活動が終わった後にも末永く続く変化を…

ロータリーの目的は、意義のある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育くむことにある。

の2点を強調し報告されました。

地区方針では『日本の認知症は2012年では65

歳以上の15%と推計され、2025年には65歳以上の20%（700万人）、5人に1人と推計されています。早期診断の進歩で、予防にかかわれる時間は長くなっていますが、介護対象になる前に、介護にやさしい地域で、自分らしく生きることを目的に、認知症にやさしいまちづくりを考えていただきたい。

ロータリーが動き出せば、より一層素晴らしい成果を挙げることができるはず。ロータリアンは行動人として、行動していきましょう』と呼びかけていました。

川瀬ガバナーは認知症予防医学の専門医



関川地区幹事からは川瀬ガバナーは高田クラブへの訪問を楽しみにしていたことを伝え、次の3点について卓話・報告されました。

○川瀬ガバナーの紹介…認知症予防医学の専門医です。ロータリーの友7月号に紹介されていますので是非一読を。ロータリアンの義務の一つは「ロータリーの友を読むこと」です。

○認知症をテーマにすることについて…最初ノミニの仲間で提案されたもので、奉仕プロジェクトの一つです。現在の職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の活動は従来どおりであり、それぞれの活動の中で「認知症」に関わる取り組みは連携するとの考え方です。

○「全国に鳴り響け100周年を祝う鐘」…日本のロータリー100周年記念実行委員会が企画したもので、2020年10月20日に東京ロータリークラブが創立100周年を迎えると同時に日本のロータリーが100周年を迎えます。この記念事業の一環として製作したもので国内全34地区に贈られました。この鐘は2018-19年度、2019-20年度のガバナー公式訪問の際に持参し、各クラブの会長により例会で点鐘されます。

クラブ協議会

宮下壽幸ガバナー補佐、関川地区幹事、吉井公式訪問担当副幹事をお迎えし、和やかな雰囲気の中、各委員会委員長より今年度の運営方針・事業計画について報告いたしました。

